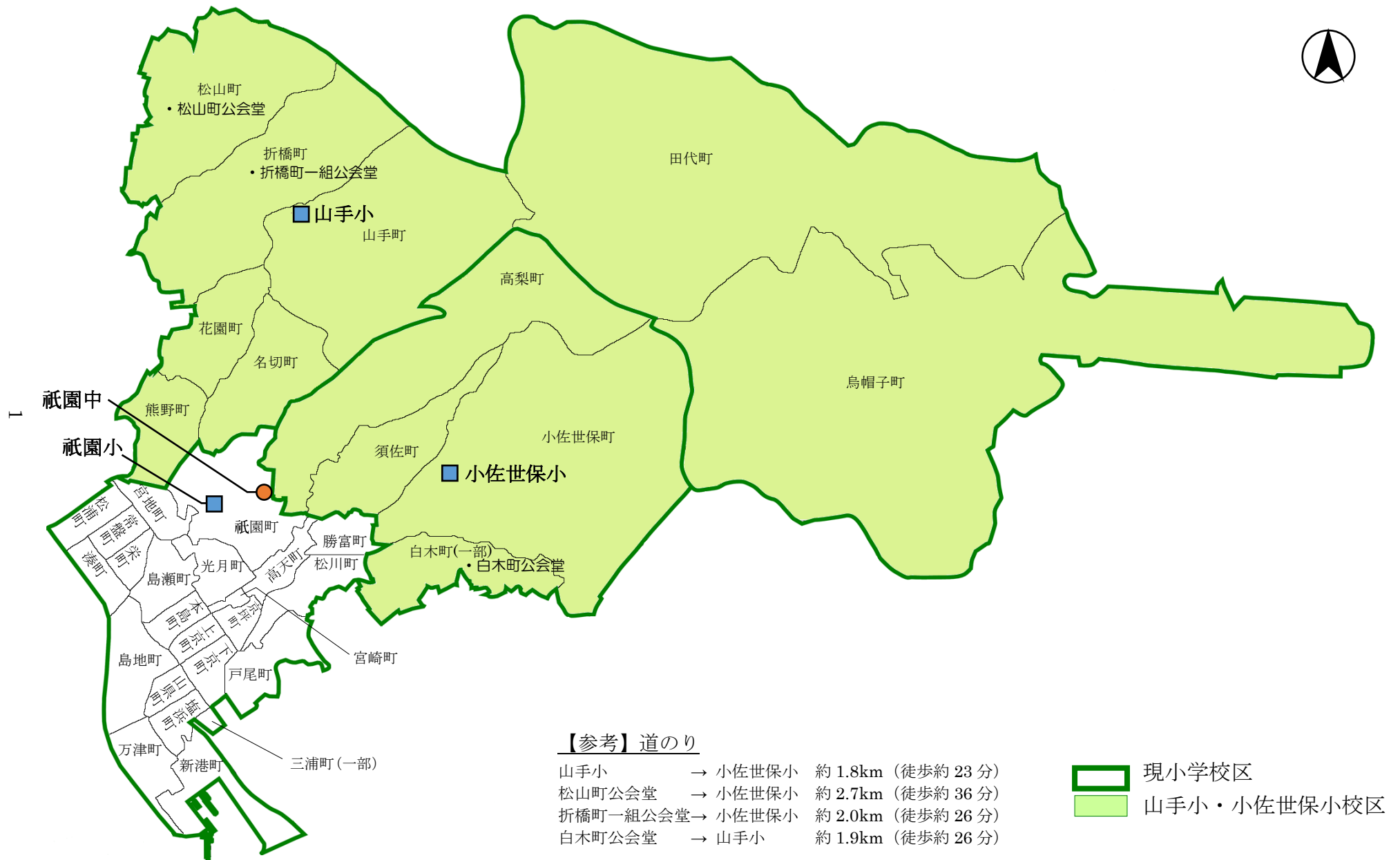


令和3年度
「新しい学校推進 意見交換会」資料

【祇園中学校区】

佐世保市教育委員会
新しい学校推進室



①現状（令和元年5月1日現在）

小学校	山手小	小佐世保小	祇園小
児童数	225人	218人	486人
学級数（特別支援含む）	7(9)学級	8(9)学級	16(19)学級
建築年数	61年	62年	40年
校舎延床面積（施設台帳より）	4,059 m ²	3,544 m ²	4,241 m ²
運動場面積	約 5,600 m ²	約 7,000 m ²	約 6,100 m ²
敷地面積	約 11,000 m ²	約 14,400 m ²	約 14,900 m ²
地区自治協議会区域	中部	中部	中部

※敷地面積には山林や法面（人工的な斜面）を含めておりません。

②「再編しない場合」と「山手小と小佐世保小を統合した場合」の児童生徒数の推計

再編しない場合		
学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)
山手小	225名	約160名
小佐世保小	218名	約140名
祇園小	486名	約520名

再編した場合		
学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)
山手・ 小佐世保 統合小	443名	約300名

目的	☆山手小と小佐世保小の小規模化の解消 ☆山手小と小佐世保小の施設老朽化問題の解消	
再編案	◎山手小と小佐世保小を統合します。（統合後の場所は小佐世保小） （理由：統合小が望ましい学校規模となるため。山手小より小佐世保小の敷地が広いため。） ※小佐世保小の敷地に統合小を整備している期間中は、統合小の場所を現在の山手小とし、現在の小佐世保小校区の児童も、統合小（山手小）へ通学することを想定しています。 ◎祇園小は、現状のままとします。（理由：望ましい学校規模であるため。）	
期待できる教育効果	学校規模	○「山手小と小佐世保小の統合小」は、全学年でクラス替え等が可能な学校規模となります。そのため、多様な人間関係の形成や、コミュニケーション能力の向上につながるきっかけが増えます。
	施設	○老朽化が進む学校を再編・整備することで、より安全で整備された学校に通うことができます。
留意点	○現山手小校区の児童で、通学距離が長くなる児童が出てくる可能性があります。	

- 学校小規模化対策のため、「山手小と小佐世保小を統合」することについて。統合する場所について。

MEMO